

定置式スクラップローダ



HLC Series

※ アタッチメントの取付ショベルは、仕様欄に表示しているクラスのショベルでも取り付けられない場合がございますので、ご相談ください。
● 各製品をご使用される際は、必ず取扱説明書をよくご覧になって、正しくお使い下さい。
● 本クレーンの運転の業務に労働者を就かせる時は、クレーン運転士の免許又は指定教習機関等の行う吊上げ荷重5トン未満の「クレーン運転の特別教育」を受講し、修了証の取得が必要です。
● 当該クレーンの設置に当たっては、クレーン設置報告書を所轄の労働基準監督署長へ提出して下さい。
● 日常点検及び月例検査、年次自主検査を必ず行って下さい。
● 本クレーンの製造に関しては、「クレーン等構造規格」を全て満たしております。
● 機体重量3ton以上の建設機械の運転には、「車両系建設機械の運転業務に係る技能講習の修了証」が必要です。
● このカタログに掲載した仕様は、改良のため予告なく変更することがございます。
● このカタログに掲載した写真は、販売標準機と一部異なる場合がございます。

オカダ アイヨン

本社営業部 特機事業課
☎552-0022
大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号
☎06-6576-1273 Fax:06-6576-1516

東京オフィス
☎100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目2番6号 東京倶楽部ビルディング13階
☎03-6268-8895 Fax:03-6268-8896

東 京 本 店 ☎175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目8番25号
関 西 支 店 ☎552-0022 大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号
札 幌 営 業 所 ☎003-0875 北海道札幌市白石区米里5条2丁目5番58号
盛 岡 営 業 所 ☎028-3621 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第7地割313番地
仙 台 営 業 所 ☎983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町2丁目4番17号
湘 南 営 業 所 ☎254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目5番17号
北 陸 営 業 所 ☎920-0356 石川県金沢市専光寺町ヨ67
中 部 営 業 所 ☎503-0946 岐阜県大垣市浅中3丁目131番1号
広 島 営 業 所 ☎733-0036 広島県広島市西区観音新町3丁目10番43号
四 国 営 業 所 ☎791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原1644番1号
福 岡 営 業 所 ☎816-0912 福岡県大野城市御笠川2丁目4番8号
熊 本 営 業 所 ☎861-1201 熊本県菊池市泗水町吉富22番地1
海 外 事 業 所 ☎552-0022 大阪府大阪市港区海岸通4丁目1番18号

☎03-3975-2011 (Fax:03-3979-3477)
☎06-6576-1261 (Fax:06-6576-1260)
☎011-598-1426 (Fax:011-598-1436)
☎019-611-0080 (Fax:019-611-0078)
☎022-352-4330 (Fax:022-352-4310)
☎0463-51-6984 (Fax:0463-51-6985)
☎076-254-5518 (Fax:076-254-6987)
☎0584-89-7650 (Fax:0584-89-7665)
☎082-208-0900 (Fax:082-208-0901)
☎089-984-8887 (Fax:089-984-8889)
☎092-404-1177 (Fax:092-504-0092)
☎0968-38-1021 (Fax:0968-41-3630)
☎06-6576-1268 (Fax:06-6576-1516)

 okadaaiyon.com



 OKADA AIYON [Official]

 @okada_aiyon

 @okada_aiyon

HLC Series

定置式スクラップローダ HLCシリーズ

高安定度・省エネタイプの新型スクラップローダ

環境対応タイプ

電動油圧方式の採用で、低騒音・低振動・排ガスなしを実現。
環境に優しいスクラップローダです。

低ランニングコスト

電動機を使用しているため、ディーゼルエンジンに比べ稼動コストが大幅に削減できます。また、エンジン回りや足回りに関わるメンテナンス費用も発生しないため経済的です。

抜群の耐久性

ショベル系・タイヤ系の作業機に比べ、高い耐久性を誇ります。
3・5・10年後のトータルランニングコストを大幅に削減できます。

作業効率アップ

ポスト上部の視認性の高いキャビンからはヤード内が一望でき、荷の受け入れ・処理機への投入・製品の取り出しが効率的に行えます。

HLCシリーズ



現場動画

先進の技術が生み出す微細な動きはまさに人の手そのもの

- 安定性の高い、省エネルギータイプのスクラップローダ開発に成功
- オペレータは正確でスムーズな運転が可能で、細かな位置決めも容易に行えます
- 作動重心が半径に関係なく一定範囲内にあるため、ポストに対する曲げモーメントが従来に比べ減少
- バランス型（B）は、カウンターウエイトが吊荷の位置に応じて重心位置を移動

開発のポイント：

従来の構造では考えられなかった画期的なシステムを考案し、安定度の高い、省エネルギータイプのスクラップローダの開発に成功しました。



HLC-35F



HLC-50F

Features

安全かつ快適な作業のための機能が充実



■ 快適な運転室

肘掛け付きリクライニングシートから全方位が見渡せ、安全な能率作業が可能
※全機種、キャビン用エアコン標準装備



■ オプション：座席

操作レバーと一体型のサスペンションシート。リクライニング角や高さなどのオペレータに最適なシートアレンジが可能。
また、静電気防止加工により、不快感を払拭。



■ 自由な操作パターン

ローダ本体の操作パターンは自由に決める事ができます。また、スクラップ処理機械用リモートコントローラーの架台を設置することでワンマン操作も可能。
（※コントローラーは、別途ご用意ください。）



■ メンテナンス性

稼動効率向上・機械の延命に不可欠な日常点検を支える足場は、無駄のない位置に配置。また、安全で無理のない昇降ができるよう階段を設計。



■ 高い視認性

オペレータからの目線で、投入状況がわかるような高さに運転席を設置しており、確実な投入が可能。



■ オプション：スピーカー・作業灯

スピーカーはオプション設定。
照明が必要な時の作業灯（白熱灯500W）1個は標準装備。

バランス型（B）スクラップローダ

最小のエネルギーで最大の仕事量が可能になり、更に省エネになります

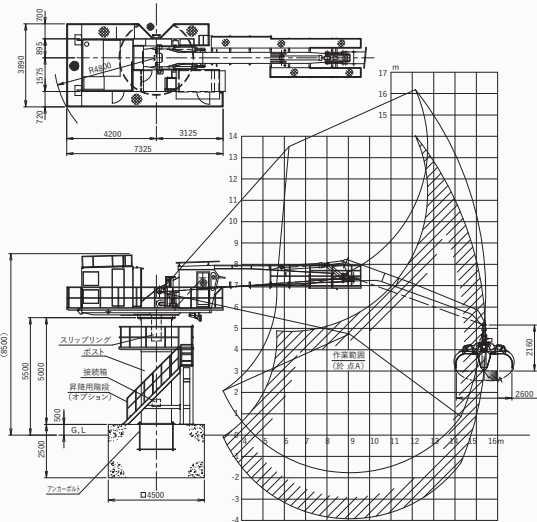


バランス型(B)は、カウンターウエイトが吊荷の位置に応じて、重心位置を移動。

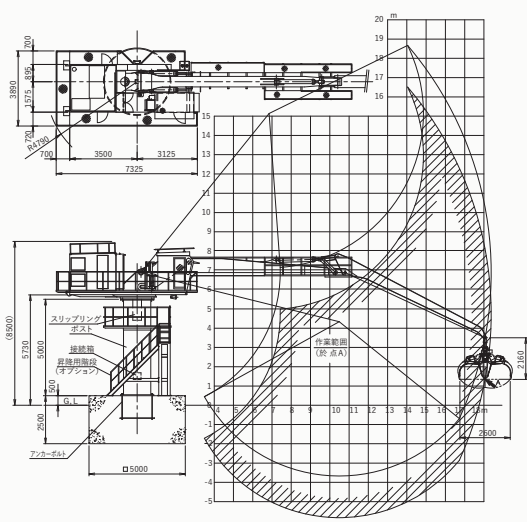
搬入車両からの引き取り、ヤード内捌き、シュレッダー、ギロチンシャー、プレスへの投入等にフレキシブルに対応し、高い生産性を生み出します。



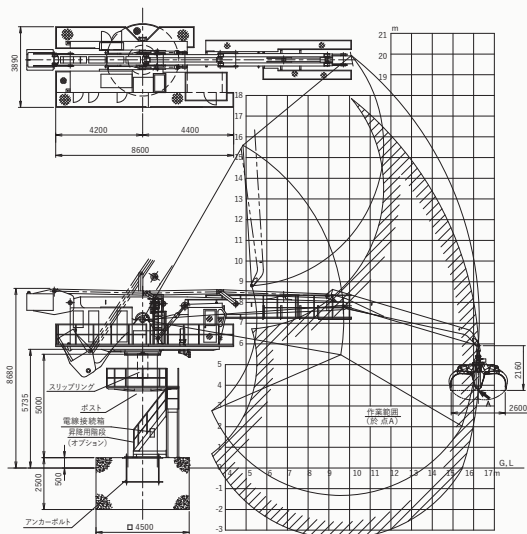
HLCB-1518F



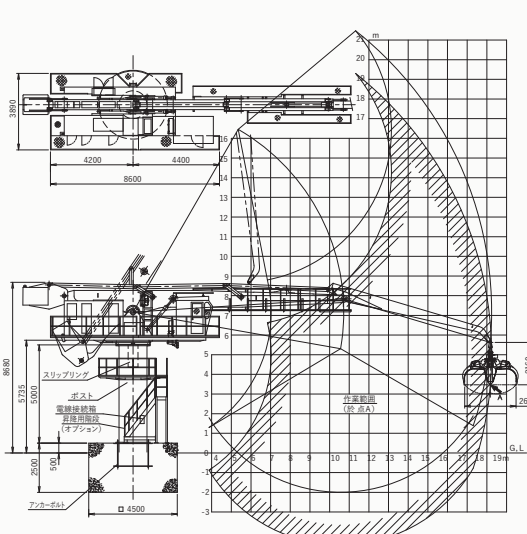
[HLC-35F]



[HLC-50F]



[HLCB-2016F]



[HLCB-1518F]

■ HLCシリーズ諸元表

			HLC-35F	HLC-50F	HLCB-2016F	HLCB-1518F
吊上能力		kN (kgf)	24.5(2500)	24.5(2500)	29.2(2980)	24.5(2500)
作業半径		m	最大15.4	最大18.4	最大16.2	最大18.3
旋回角度			360°連続全旋回			
油圧源			可変容量ピストンポンプ2連1台			
		MPa (kgf/cm ²)	22 (224)	25 (254)	22 (224)	22 (224)
オイルタンク		ℓ	700	700	650	650
			空冷式オイルクーラー付			
電源			AC440/400V 3φ 60Hz			
電動機	油圧ポンプ用		75kw4P1台			
	パイロットポンプ用		-	-	-	-
	オイルクーラー用		0.75kw 2台	0.75kw 2台	0.75kw 1台	0.75kw 1台
制御盤			屋外型			
			電磁スターデルタ始動器			
質量		kg	27,000	29,000	37,000	39,000

* 質量は乾燥質量とし、基礎質量は含みません。 * 基礎ボルトは納入いたしますが、基礎工事は当社所掌範囲外とします。
* 電気工事は、ポスト内接続箱以後は当社とし接続箱迄の電気工事は当社所掌範囲外とします。 * 昇降階段はオプションです。

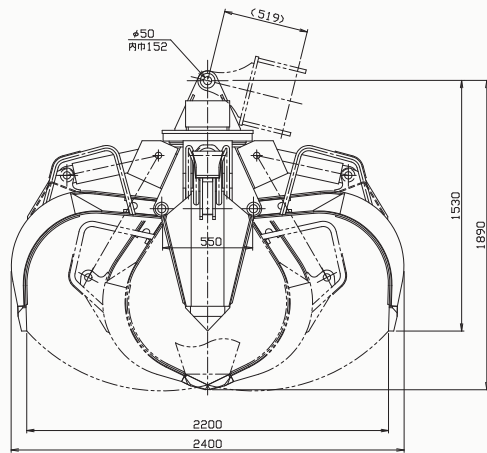
スクラップローダ用グラップル

爪の最大開口幅は、2200/2600mmから選択することができます。
作業環境に合わせてご要望ください。

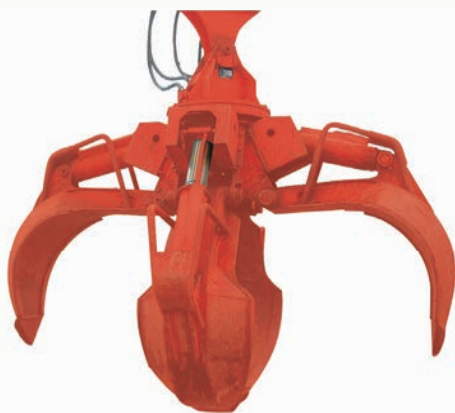
4本爪仕様（標準）



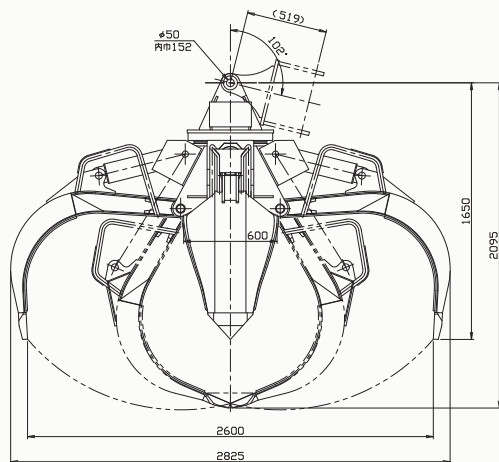
BHB40シリーズ



4本爪2本爪切替仕様*



BH40シリーズ



* オプション（爪切替式グラップル）

切替スイッチによる4本爪・2本爪に使い分けが可能。不定形の積荷を確実に掴んで積み降ろしができ、現場での細かな要望に応えます。

■ BHB/BHシリーズ諸元表

BHB/BHシリーズ		吊下式					
		4本爪仕様（標準）				4本爪2本爪切替仕様（オプション）	
		BHB40H2-1	BHB40H2-2	BHB40D2-1	BHB40D2-2	BH40H2-1	BH40H2-2
質量	kg	1080	1220	1400	1460	1080	1220
爪最大開口幅	mm	2200	2600	2200	2600	2200	2600
爪先端最大掴み力	kN	30.0	25.8	44.5	37.0	30.0	25.8
旋回トルク	Nm	1030	1030	1470	1470	1030	1030
開閉速度(sec)	閉	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
	開	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
旋回速度	rpm	8-12	8-12	8-12	8-12	8-12	8-12
ポイント①～④		△	△	△	△	△	△

* ポイント：①耐摩耗プロテクタ ②滑り止め溶接 ③爪プロテクタ ④背板補強
○は標準設定、△は一部対応、×は設定なし

◎スクラップローダ使用時のご注意

作業前に下記の事項を必ず行ってください。

始業前の点検 (日常点検)

- 作業開始前の点検を取扱説明書の点検表に従って確実にを行い、異常があればただちに修復してください。

昇降用梯子からの 落下注意

- 本機に昇降するときは、必ず梯子に
対面する姿勢で手摺、ステップ
を使用し、常に3個所以上で身体
を保持するようにしてください。

ステップや手すりの外観 及び取付部の点検

- ステップや手すりの外観及び取付部の点
検を心掛け破損やボルトなどのゆるみが
あれば修復してください。
ボルト、ナット、ホースがしっかり取り付
けられていることを確認してください。
※ボルトの締付けは交互対角・均等に行ってください。

安全な服装

- 運転及び作業時には安全帽、安全靴、安
全帯、身体に合わせた作業服を着用し、
作業に応じて安全メガネ、マスク、手袋
などを用いてください。また高所(地上
2m以上)で作業する時は安全帯、保護
帽などを使用してください。

暖機運転の実施

- 外気温が15℃以下の場合は、暖
気運転を十分に行ってから、作
業を開始してください。

グリスアップをして ください

- 作業前に1回、1日2回以上グリス
アップを行ってください。

作業時は下記の事項を必ず行ってください。

作業半径内での危険 防止

- 作業半径内には人を立ち入
らせないでください。
グラップルの真下や周囲に
人がいないか確認し、操
作前にホーンにて合図し、注
意を促してください。

作業休止時の注意

- 荷及びグラップルを宙吊りにした
ままで、運転席を離れないでくだ
さい。離れる場合はグラップルを
地面に着地してください。

- ・本機にはブームの急落下を防止する安全
弁を装備していますが、この安全弁は機
器の特性上ブームを完全に保持する物で
はありません。グラップルを宙吊りにし
ていますとブームは徐々に降下します。

運転作業中の昇降中止

- 運転作業中は本機への昇降を禁止します。

障害物に注意

- 作業中は周囲の状況をよ
く確認し、グラップル及
びブームを車両、建物な
どに衝突させないよう注
意してください。

押し込み作業・ハン マリング作業の禁止

- グラップルでのスクラップの
押し込みや、たたき潰しなど
の作業は、本機の破損の原因
になり重大事故につながる可
能性がありますので、絶対
に行わないでください。
(本機はクレーン作業を行うた
めの装置です。)

作業後は下記の事項を必ず行ってください。

グラップルは地面に 着地

- 作業終了後は作業現場の安
全を確認し、爪を全開して、
安定した場所に着地させて
ください。

電源の「切」

- 制御盤内配線用遮断器のスイッチを「OFF」にして運転席を離れて
ください。

給油整備時は下記の事項を必ず行ってください。

ブームの固定

- グラップルは必ず、爪を全
開し、地面に着地させてか
ら実施してください。

グラップルの下には 入らない (グラップル宙吊り時)

- 機器の特性上、完全に
ブーム固定(保持)は
されませんので、ブ
ームは徐々に降下し、グ
ラップルも下がります。

グラップル給油整備時、作業上やむを得ずグラップルを宙吊りしなくて
はならない場合は右記事項に注意してください。

※運転者と安全を確認してから作業を行ってください。

火災の防止

- 作業油や潤滑油脂は可燃性で
す。またユニット室内の吸音
材も油脂類を含んでいますの
で、火気には注意してくだ
さい。

- 整備時に溶接、ガス切断などの作業が伴う場合
は消火器を備え、火気には十分注意して施工し
てください。

その他

暴風時対策

- 暴風時(風速16m/sec以上)
及び雷時は、作業をやめ、グ
ラップルを全開にし、安定し
た場所に着地させ電源を切っ
てください。

交換

油圧作動油の交換

- 定期交換(交換時期)を守ってください。

交換時期	初 回	1ヶ月後(又は稼働200時間後)
	定期交換	6ヶ月毎(又は稼働1000時間毎)

フィルターの交換

- サクシオンフィルター及び
ラインフィルターは定期的
に点検してエレメントを洗
浄または交換してください。

作業に適した工具

- 工具は適正なものを正しく使用してください。
誤った使い方は人身事故や破損の原因となりま
す。

交換部品

- 交換部品は必ず当社指定の純正部品をご使用ください。